

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	22-044	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名 (原題/訳)</b>		
<p>Risky health behaviors during the COVID-19 pandemic: Evidence from the expenditures on alcohol, non-alcoholic beverages, and tobacco products</p> <p>COVID-19 パンデミック期の危険な健康行動：アルコール、非アルコール飲料、タバコ製品の支出にもとづくエビデンス</p>		
<b>執筆者</b>		
Acharya B, Dhakal C.		
<b>掲載誌</b>		
PLoS One. 2022 May 19;17(5):e0268068. doi: 10.1371/journal.pone.0268068. eCollection 2022.		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
COVID-19、飲酒、喫煙、支出、健康行動		35587483
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b> COVID-19 パンデミック時のアルコール、非アルコール飲料、タバコ製品に対する消費者支出をパンデミック前と比較し、検討する。</p> <p><b>方法：</b> 米国国勢調査局が実施した消費者支出日誌調査から得られた 2017～2020 年のアルコール、非アルコール飲料、タバコに関する支出データを用いた観察研究である。回答が得られた 21 歳以上 18,808 人を解析対象とした。2020 年 3～12 月を”パンデミック期”、それ以前を”パンデミック前 (Reference)”と定義した。パンデミック期および人口統計学的・社会経済学的特性を独立変数とし、対数変換した 2 週間ごとのアルコール、非アルコール飲料、タバコ製品の支出を従属変数とし、多変量線形回帰分析を行った。また、社会経済グループ (性別、人種/民族、教育、収入) ごとに支出習慣が異なる可能性も考慮し、サブグループ解析を実施した。</p> <p><b>結果：</b> パンデミック期におけるアルコール、非アルコール飲料、タバコ製品に対する家計支出は、パンデミック前と比較して有意に減少していた (それぞれ <math>\beta = -0.337</math> [95%信頼区間(CI): -0.409, -0.264]、<math>\beta = -0.082</math> [CI: -0.143, -0.022]、<math>\beta = -0.168</math> [CI: -0.215, -0.12])。3 つの支出に対し統計的に有意な関連性を示したのは年齢、人種/民族、教育、収入であった。また、サブグループ解析では、教育水準が低いあるいは低所得世帯ではアルコール支出が減少したが、教育水準が高いあるいは高所得者ではパンデミック期のアルコール支出が多かった。(教育 <math>P = 0.031</math>、収入 <math>P &lt; 0.001</math>)</p> <p><b>結論：</b> アルコール、非アルコール飲料、タバコ製品の家計支出は COVID-19 パンデミック時に大幅に減少していた。この結果は、経済混乱期に懸念される問題行動とその支出の背景を理解する上で有益である。</p>		